



第8弾

# ありがたい姿 探検記



前回のおさらい

先生・竹本礼子さん

活動の動機：健康のためにやりたいことを応援し、健康増進を目指す町民を増やしたい。

ありがたい姿とは：…できることを一緒に探るための道具

SDGsとは：地球に生まれながらの方がいよこと、下川町に生きているならするべきこと

先月は、竹本礼子さんから、取り組みやまちづくりへの想いをお聞きしました。今月は、健康増進に焦点を当て、日本、世界のSDGsの現状をご紹介します。

## 健康増進への意識増

竹本さんが目標とするのは、「町民が「やりたい」とを応援し、自分に合った健康増進を目指す町民を増やす、ことです。コロナ禍により私たちの健康増進への意識は高まったかと思いません。町内でも、飲食店の皆さんの徹底した感染対策や、町民主催で健康・食にまつわる講演会や映画の上映を行うなど、健康増進への意識が向上したと思います。事例として有名なのは、神奈川県「未病」という、健康と病気の間に連続的に変化する状態を改善する取り組みです。



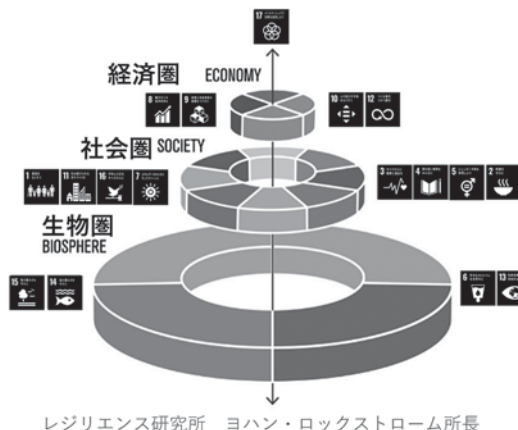
## SDGsの視点から

これを、SDGsの視点からみるとどうなのでしょう？SDGs 国別ランキングのうち、目標3「すべての人に健康と福祉を」の日本の達成状況は課題が残っているという結果になりました。日本が達成できていない指標は、結核感染者数が高いこと。北海道の場合、喫煙率の指標が身近な課題です。コロナ禍での経験は、SDGsの達成で対応力が変わるということでした。病床数世界一を誇った日本でも猛威をふるい続ける新型コロナウイルスですが、医療従事者の離職、昨年度の自殺率の増加で女性、特に深刻だったことなど、あらゆる分野から様々な課題が浮き彫りになりました(詳しくはnote)。



お問い合わせ  
政策推進課  
☎ 4-2511-1  
☆ 4-2511-1  
Fax 4-2511-7

## SDGs ウェディングケーキ



生物圏 目標3の指標では、「有害化学物質、大気、水質及び土壌の汚染による死亡や病気を減少させる」というものがあります。私たちが健康に生きられるのは、きれいな

ウェディングケーキの視点から

ここで、SDGsの目標を生物圏・社会圏・経済圏の3つの層に分類し、全ての目標の密接なつながりを表している「SDGsウェディングケーキ」でみてみましょう。

## 社会圏

水、自然があるからです。しかし、SDGsの海の豊かさ、陸の豊かさ、そして気候変動についての目標は日本において最重要課題となっており、私たちの健康増進のためにも、脱炭素社会の実現が重要であり、急がれています。

## 経済圏

ケーキの一番上は今までの生物、社会圏の土台ありきの、私たちが自由に人生を選択できるようにするための経済をつくる目標です。仕事、生き方を選択する自由がある、個性を大切に

## 私たちにできること

そしてこれらを達成するための手段として、パートナーシップがあるので、一人ではできないことも皆と一緒に楽しくできるようになります。そう、このサークルのように！日本は他国に比べると保険や年金が手厚いと言われています。しかし、少子高齢化により、年金の額は減っていきます。私にできることは、強くて元気な身体づくりをし、元気な高齢者として笑顔で生きていくことかなと考えています。筋肉を貯める、「貯筋」ですね。皆さんにできることはなんでしょうか？

先月に引き続き、SDGs 3番、健康に焦点を当て、下川町、日本、世界の視点でみてきました。今回のゲストはどなたでしょうか？お楽しみに！

## 「ありがたい姿」掲示板

町民の皆さんのSDGsに繋がる活動やまちづくりの関心事にお答えするコーナーです。〇〇さんのお話を聞きに行ってください！ など、皆さんの声を『知恵の環』にお寄せください。

充実版は公式noteへ

